

渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録
10周年記念シンポジウム（案）

1. 目的

令和4（2022）年7月に、渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録されて10周年を迎える。

これを記念し、渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録後10年間の歩みを振り返るとともに、ラムサール条約の理念である、私達の生活を支える重要な生態系としての湿地の「保全・再生」、湿地の生態系を維持しつつ、そこから得られる恵みを持続的に活用する「賢明な利用」、湿地保全や賢明な利用のために対話・能力構築・教育・参加・啓発活動を進める「CEPA」の促進により、渡良瀬遊水地の豊かな自然環境を守り、将来へつないでいく事を目的に、「ラムサール条約湿地の未来」をテーマとしてシンポジウムを開催する。

2. 開催日時

令和4（2022）年7月3日（日）

- ・開 場 12：00
- ・開催時間 13：00～17：30

3. 会 場

小山市立文化センター 大ホール

（〒323-0023 小山市中央町1丁目1番1号 TEL：0285-22-9552）

（裏面に続く）

4. タイムスケジュール

12:00 開場・受付開始

【第1部 主催：渡良瀬遊水地保全・利活用協議会】

司会：鈴木 陽子 氏（おやまコミュニティFM「おーラジ」パーソナリティ）

13:00 開 会 主催者挨拶・来賓挨拶

わたらせシールラリー認定証・記念カード贈呈式
（当日は該当者全員招待するが、認定者多数の場合は、
代表1名に贈呈を受けていただく）

13:20 ① 活動報告

～ラムサール条約湿地登録10年後の歩み、そして未来へ～
発表者（NPO）わたらせ未来基金 理事長
青木 章彦 様

14:10 休憩（10分）

14:20 ② パネルディスカッション

テーマ：（仮）

ラムサール条約湿地におけるエコツーリズム

◆パネリスト

日光市長

古河市・栃木市・小山市・野木町・板倉町・加須市
の各首長

環境省自然環境局 野生生物課（検討中）

利根川上流河川事務所長

◆コーディネーター

（NPO）わたらせ未来基金 理事長 青木 章彦 様

15:20 「渡良瀬遊水地宣言」発表

◆発表者 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 浅野 正富 会長

15:30 休憩（10分）

【第2部 主催：小山市

共催：栃木市、古河市、加須市、野木町、板倉町、保全・利活用協議会】

「田っぴり学ぶ！わたらせ コウノトリ スクール2022」

担任（司会）：鈴木 陽子 先生（おーラジ パーソナリティ）

15：40 ホームルーム 浅野 正富先生のお話

※柳生 博さんと渡良瀬遊水地について

15：50 1時間目 社会 「コウノトリが帰ってくるまで」

佐竹 節夫 氏（日本コウノトリの会 代表）

森 薫 氏（日本コウノトリの会 事務局長）

16：20 【休憩】

16：30 2時間目 道徳 マナー観察ボランティア 発足

平田 政吉 先生（渡良瀬遊水地見守り隊）

16：40 3時間目 情報 わたらせコウノトリファンクラブ 始動

伴瀬 恭子 先生（わたらせ未来基金）

16：50 【休憩】

17：00 4時間目 総合学習 「コウノトリへの思い」 ※調整中

下生井小（小山市）、藤岡小（栃木市）、●●小（兵庫・豊岡市）

進行：浅野 正富 先生（小山市長） or 鈴木 陽子 先生

17：30 閉校

5. 参加定員

- 200 名程度

※来賓・登壇関係者・協議会構成員等を除く一般参加者の定員。

6. 参加方法

- 参加費無料
- 当日参加可
- 感染症対策（当日受付の混雑緩和）のため、事前申込受付を実施。

※6月1日(水)から小山市HP（かんたん申請システム）及び電話受付を開始。

7. 事務局

小山市 総合政策部 自然共生課

（〒323-8686 栃木県小山市中央町 1-1-1 小山市役所 6 階）

TEL：0285-22-9354 FAX：0285-22-9546

E-mail：d-shizen@city.oyama.tochigi.jp

※ 本シンポジウムは、新型コロナウイルス感染症の状況により、開催形態を変更する可能性があります。その際は、事務局（小山市）HP 等で適宜お知らせいたします。

ラムサール条約登録 10 周年記念シンポジウム

パネルディスカッション企画案

渡良瀬遊水地では、2012 年のラムサール条約登録以前から、多様な関係者の努力により豊かな湿地環境が保たれ、条約登録をきっかけとして、その理念に基づき渡良瀬遊水地の「保全と再生」、「賢明な利用」、「CEPA（参加交流・普及啓発）」をさらに推進してきた。

その結果、渡良瀬遊水地では多数の利用者がサイクリングやバードウォッチング、その他屋外アクティビティを楽しむ一方で、多数の貴重な動植物が生息・生育し、2020 年にはコウノトリの野外繁殖が実現している。

こうした渡良瀬遊水地の良好な湿地環境を将来にわたって支えていくには、ヨシ焼きや外来種対策など、人の手をかけ続けていくことが不可欠であるが、現代社会にコロナ禍も相まって、人と自然、人と人の関係が希薄となりつつあるなど、その継続に課題が見えている状況である。

本パネルディスカッションでは、こうした関係を結びなおすきっかけとなりうる「エコツーリズム」をテーマとして、近隣の条約湿地である奥日光湿原の取組を交えながら、改めて湿地の持つ魅力を再確認し、条約の理念の好循環を生むヒントを探ることを目的とする。

<登壇者>

コーディネーター : 青木先生

パネリスト : 4 市 2 町 首長、利根上所長、日光市長

<大まかな流れ>

- ・（前提）渡良瀬遊水地における湿地環境について、これまでの活動や現状については、前段の活動報告で青木先生が語っている。
- ・ 環境の面から見ると良くなった点も多く見られるが、その一方で課題も多く見受けられる。
- ・ これからも良好な湿地環境を保つには、多くの人の手を入れることが重要。
- ・ しかしながら、地元の中でも地域間で意識差があり、市民一人ひとりにとって「自分の大切な場所である」という認識が低い。利用者の方々も、レクリエーションとしての活動と湿地保全としての活動が全くの別物であると認識している方がほとんどではないか。
- ・ 条約には3つの理念が掲げられているが、この10年間の活動を振り返ってみると、それぞれの理念が互いに影響し合っていることに気づく。どんな活動も、一つの理念に収まるようなものではない。
- ・ これからは渡良瀬遊水地を利用しながら支える、利用していく中で利用者どうしがつながるような取組が大事。大きな視点では、湿地と湿地がつながる、人と人が湿地でつながる関係性を構築していきたい。

渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録
10周年記念シンポジウム 収入・支出予算（案）

（1）主催：渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

1. 収入

（単位：円）

区分	金額	備考
保全・利活用協議会	400,000	協議会予算
計	400,000	

2. 支出

（単位：円）

区分	金額	備考
報償費	120,000	謝金（出演者、司会者ほか）、旅費
需用費	240,000	ステージ看板 チラシデザイン その他消耗品購入、レンタル
役務費	40,000	会場警備
計	400,000	

(2) 主催：小山市

共催：栃木市、古河市、加須市、野木町、板倉町、保全・利活用協議会

1. 収入

(単位：円)

区分	金額	備考
小山市	600,000	一般予算
計	600,000	

2. 支出

(単位：円)

区分	金額	備考
報償費	200,000	謝金（講演者）、旅費
役務費	400,000	通信費（遠隔地WEB接続等）
計	600,000	

わたらせシーララー2020の記念カード(案)について

●ダムカード(渡良瀬貯水池)

(表)



(裏)

DAM-DATA

所在地：栃木県栃木市、野木町
群馬県板倉町、埼玉県加須市

河川名：利根川水系渡良瀬川

型式：掘込式貯水池

取水放流設備：ローラゲート（フラップ付き） 1門
ローラゲート 3門
送水ポンプ 3台

堤高・堤頂長：7.2m・2,200m（流入堤）
8.5m・6,850m（周囲堤）

総貯水容量：2,640万m³

管理者：国土交通省

本体完工/完成年：1976/2002年

詳しいデータはこちら <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/>

ラムダム情報

- ・日本初の平地型ダムです。
- ・旧谷中村の遺構を保存するためハート形になりました。
- ・2012年7月に渡良瀬遊水地は、ラムサール条約湿地として登録されました。

こだわり技術

- ・H形水路により一方のポンプ（最大毎秒20m³）だけで取水・放流の両方を行います。
- ・「ヨシ原浄化施設」「人工浮島」「谷田川分難堤」および「干し上げ」などの水質保全対策を行っています。

●ラムサール条約湿地登録5周年記念カード

渡良瀬遊水地 ラムサール条約湿地登録5周年記念カードを発行します！

渡良瀬遊水地は平成24年7月にラムサール条約湿地として登録され5周年を迎えます。渡良瀬遊水地保全・利活用協議会では、これを記念してラムサール5周年記念カードを発行します。

ラムサールカード7種類と渡良瀬貯水池ダムカード 合計8枚を集めよう！
カードケースも配布します！

- ・平成19年より国土交通省と独立行政法人水資源機構の管理するダムで作成し、配布開始。カードの大きさやデザイン、掲載する情報項目は全国で統一。
- ・正式なダムカードの扱いではないが、保全・利活用協議会では「ラムサール条約湿地登録5周年記念カード」を作成。
- ・様々な地域でダムカードに倣った記念カードが存在。



栃木県アフターDC期間限定カード (H31.4~6月 ※配布終了)



群馬県丸沼ダムカード (キラキラ) (片品村内の宿泊者限定)

全国的に知名度のある「ダムカード」のデザインをアレンジし、限定感のある「渡良瀬遊水地マスター記念カード」を作成。

記念カードデザイン(案)

表面

裏面



Watarase Yusuichi - DATA

所在地：栃木県栃木市、小山市、野木町
群馬県板倉町、埼玉県加須市
茨城県古河市

河川：利根川上流
面積：約3,300ha
外周距離：約30km
総貯水量：約1億7,000万m³
管理者：国土交通省

最新イベント情報はこちら
渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団HP



わたらせまめ知識

- ・国内最大の遊水地です(東京ドーム700個分)。
- ・本州最大のヨシ原(約1,500ha)に絶滅危惧種チュウヒをはじめとする多くの動植物が生息・生育する「自然の宝庫」で、2012年7月3日にラムサール条約湿地に登録されました。
- ・渡良瀬貯水池(谷中湖)は旧谷中村の遺構を保存するため、ハートの形になりました。

ゆるきやら情報 ※カード表面の左から順に

- ・万寿丸(古河市)、とち介(栃木市)、政光くん・寒川尼ちゃん(小山市)、のぎのん(野木町)、いたくらん(板倉町)、(TM)こいのぼりマン(加須市)

ダム役割(目的)を示した記号

F：洪水調節

N：流水の正常な機能の維持

A：農業

W：上水道

I：工業

P：発電